

180万票 20%以上めざし 4議席絶対回復、11年ぶりの女性衆院議員を

総選挙勝利へ候補者・府県委員長、選対部長会議など連続開催

近畿ブロックはこの間、衆院議員・候補者・府県委員長会議（11月8日）、選対部長会議（同12日）、SNS推進相談会（同19日）、女性部長会議（同20日）などを連続開催。幹部会決定にもとづき、大阪住民投票の勝利を力に総選挙勝利の取り組みの飛躍を図ってきました。一連の会議で強調された諸点とその後の議論での到達を含め紹介します。なお候補者・府県委員長会議には新たに発表された、たけやま彩子、西田さえ子両候補も参加し、発言しました。



●大阪住民投票の勝利

「近畿はひとつ」で取り組んだことが勝利の力になったこと、大阪の前途に希望をもたらすとともに国政にも大きな衝撃を与えている。

●学術会議、コロナ感染拡大

学術会議問題は「歴史の分水嶺」に、「党の存在意義をかけて」たたかう、コロナでは「だれ一人取り残さない」「立党の精神に立った取り組み」という位置づけで取り組む。

●政治目標について

・新たに得票率 20%以上の目標を加え、「180万票、20%以上、4議席絶対回復」とする。「180万票、20%」は1998年参院選比例票（175万票、18.9%）を超えるもので、この目標をめざしつつ、どんなことがあっても4議席回復をなしとげる。

4議席は前々回獲得した議席だが、当時は定数が29。1減された28ではじめて獲得を目指す。議席倍増という挑戦の課題であり、議席目標は「4議席絶対確保」であることを

改めて明確にする。

・「11年ぶりの女性衆院議員誕生」を「4議席」と同等の目標として位置付ける。

・近畿6府県は以上の目標に結束し、「近畿はひとつ」でやり上げる。

●「比例を軸に」、野党共闘

・野党共闘には相手があり、山も谷もあるが、野党共闘

の推移がどうであれ、今すぐに党としてやれることは「比例を軸に」、宣伝し、支持拡大し、名簿を整備すること。

「決して野党共闘の様子見に陥ってはならない。『日本共産党の躍進なくして野党連合政権はない』ということを目に銘じて、今すぐ宣伝、支持拡大を。そして、学術会議問題でも桜を見る会でも、スクープを連発して野党共闘をリードしている『しんぶん赤旗』を増やそう」（以上、こくた衆院議員の話）

・比例での公明党の執念に負けず、党の値打ちを大いに語ろう。

・地方議員が「比例を軸に」で党支持の大波を広げる先頭に立つ。近畿ブロック作成の「比例バナー」を各種ニュースに必ず掲載する。

●得票増、タテ線作戦の推進

・この間、清水衆院議員の全商訪問（現在60）、宮本前衆院議員の「教育提言」、女性作戦推進のための女性部長会議などタテ線作戦に取り組んだ。

・コロナ対策を取りながら女性比例候補を先頭とする宣伝や集いなどをすすめる。

・清水さんの全商訪問は総選挙勝利へ当面100をめざすなど、さらにインパクトを持った取り組みにする。

・近畿の有権者、党の得票の4割以上を占める大阪での得票増の取り組みを強化する。兵庫では比例キャラバンなどの取り組みが進められている。さらに強化する。

20近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 65(2020. 12.12)